



群馬県立がんセンター

# 消化器外科通信

Vol.13  
2025.5.



## 消化器外科部長 宗田 真

ロシアがウクライナに侵攻して大変なことが起こったとニュースに齧り付いて見ていた時から3年が過ぎ、まだ悲惨な状況が続いているにも拘らず、当初あった関心が薄まってしまっている事に危機感を覚える。またイスラエルとパレスチナの問題も同様ではないかと感じる。日本はまだ安全だから良かったと思うだけでなく、速やかにこういった悲惨な状況が終わる事を真摯に願い続ける事が重要なのではないかと感じている。

そしてトランプ関税で日本経済の低迷が予測される中で、日本企業にとって大切な事は、日本の質の高い技術力を生かし、高い関税でも海外に需要のある良いものを作ることが重要であり、むしろ日本にとってチャンスと捉えるしかないのかもしれない。

外科医療においても、患者さん一人一人に丁寧に、そして技術力の高い良い医療を継続的に行えるよう個人の技術だけでなくチーム力の向上にも努めていきたい。

今回の外科通信では、ロボット支援手術の現状、昨年秋より開始したロボット支援下肝切除について、4月入職の新任医師の紹介をさせていただきます。

## 1. 手術支援ロボット（ダビンチ）/鏡視下手術の実績

2024年7月より Da Vinci Xiが2台体制となり、ロボット手術件数が増加。

### ◆ 2025年3月までのダビンチ手術の実績

食道癌 110例、胃癌 147例、結腸癌 85例、直腸癌 338例、肝臓癌 2例です。

(その他、ロボット手術以外にも肝臓など多くの腹腔鏡手術を行っています)

〈日本内視鏡外科学会技術認定医〉 食道 2名、胃 1名、大腸 1名

プロクター取得: 食道 2名、胃 1名、大腸 2名

〈日本ロボット外科学会専門医〉 国際B級: 1名、国内A級: 1名

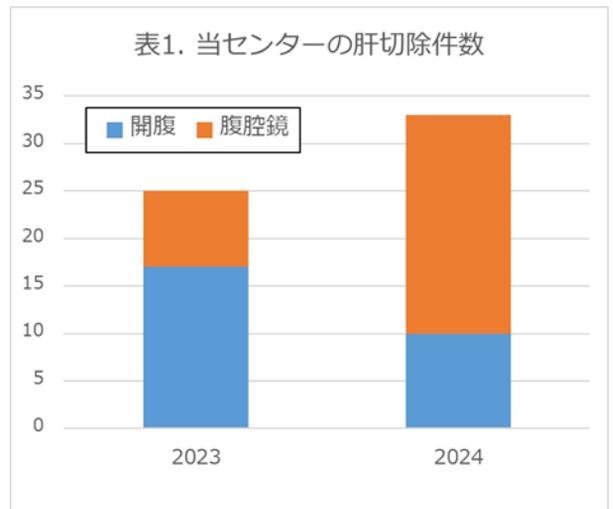
## 2. 肝胆膵外科手術：ロボット支援下肝切除の導入について

2023年4月より当センターの肝胆膵外科手術を担当している渡辺です。当センターでは2023年5月より腹腔鏡下肝切除を導入し、本年の3月までの期間で37例の腹腔鏡下肝切除をおこなってきました。

全症例において重篤な術後合併症なく安全に手術が行えております。また、この2年間で肝切除に占める腹腔鏡下肝切除の割合は32%から70%と大幅に増加をしています(表1)。腹腔鏡下肝切除においては、導入当初は部分切除や外側区切除などの小範囲の切除のみを対象としていましたが、現在では亜区域切除などより広い範囲の肝切除も行うようになってきました。

当院では安全に腹腔鏡下肝切除が行える環境が整ったため、次の段階としてロボット支援肝切除の導入を2024年12月より開始しました。

ロボット支援肝切除は国内では2010年に若林剛先生らによって初めて報告されました(J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2011; 18: 481—487.)。その後しばらくの間は、ロボット支援肝切除が保険収載されていなかったため、臨床試験などで限られた施設でのみ行われる術式でした。ロボット支援胃切除や大腸切除が2018年に保険収載されましたが、ロボット支援肝切除はそれよりも4年遅れの2022年4月に保険収載され、現在では肝胆膵外科手術を多く手掛ける大学病院などで手術数が増加しつつあります。



ロボット支援肝切除は通常の腹腔鏡下肝切除に比較して、ロボットアームを用いた手術操作により手振れが補正されること、ロボットアームの多関節機能により縫合・結紮などの細かい操作が施行しやすくなること、腹腔内を映すカメラも画像にぶれがなく対象物をより接近して



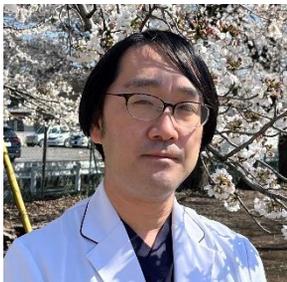
図1. ロボット支援下肝切除の術中所見です。肝臓実質をロボットアームで破碎し、脈管は凝固切離またはクリップをして切離していきます。腹腔鏡よりも安定した視野で近接し、細かい肝臓の構造が確認可能です。

細かい解剖構造を確認しながら切離操作ができること(図1)、などのメリットがあります。一方で、肝切離を行うための手術器具(例えばCUSA®など)に関してはまだ開発途中のものもあり、腹腔鏡下肝切除と全く同様の手術器具が

使えないことがデメリットとなっています。ロボット支援肝切除においては、腹腔鏡下肝切除と同様、施行にあたっては保険診療下で行うための施設基準があり、当院では肝部分切除または外側区域切除の比較的低リスクの低い肝切除が施行可能となっております。

今後も安全面に十分注意をしながら、少しずつロボット支援下肝切除の数を増やしていきたいと考えております。よろしくお願いたします。

### 3. 新任医師紹介



高橋 遼

本年4月1日に赴任いたしました、高橋遼と申します。出身は洪川市で、群馬大学卒業後は消化器外科医として県内の病院で診療をおこなってきました。群馬大学医学部附属病院で下部消化管チームの一員として勤務後、昨年までは公立藤岡総合病院で消化器一般外科の診療に携わらせていただきました。がんセンターでは下部消化管を担当いたします。大腸がんの患者さんは年々増加しており、これまで培ってきた知識や技術を活かしつつ、さらに研鑽を積み、これまで以上に患者さんのお役に立てるよう、そして何よりも患者さんとご家族に寄り添った丁寧な診療を心がけていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

専門: 下部消化管 趣味: 読書、写真撮影



生方 泰成

令和7年4月1日より赴任させていただきました、生方泰成と申します。出身は高崎でこれまでは、群馬大学、高崎総合医療センター、国立沼田病院での勤務歴があります。昨年までは高崎総合医療センターで一般外科に従事しておりました。専門領域は上部消化管、特に胃を専門としておりますが、前任の榎田先生、鈴木先生と比べるとまだ若輩であり、太田での勤務は初めてとなるため、まずは皆さんから信頼していただけるように邁進してまいります。当院の特徴として、ロボット支援下手術の割合が多いことが挙げられます。この特色を生かし低侵襲でより良い医療を患者さんに提供できるように尽力いたしますため、何卒よろしくお願いたします。

専門: 上部消化管 趣味: 映画鑑賞



内田 真太郎

本年4月1日より赴任させていただきました、内田真太郎と申します。昨年度までは4年間、群馬大学医学部附属病院に勤務し、消化器癌の集学的治療および基礎研究に携わっておりました。趣味は体を動かすことで、休日はジムやバッティングセンターで汗を流し、長時間手術に耐えうる体力を養っております。がん専門施設での勤務は初めてですが、当院では症例数が豊富で、多様な症例に触れられることに大きな刺激を受けております。消化器外科医として患者様に真摯に向き合い、信頼される医師を目指すとともに、一人の人間としても成長できるよう努めてまいります。何卒よろしくお願申し上げます。

専門: 上部消化管 趣味: 野球、様々なお酒を嗜む

## 【消化器外科医師紹介】



副院長  
医療安全管理室長  
がん登録室長

**尾嶋 仁**

専門: 上部・下部消化管  
ロボット手術プロクター(食道・胃・大腸)  
内視鏡外科学会技術認定医(食道)  
趣味: 読書・ドライブ・スキー  
B級グルメ食べ歩き



消化器外科部長

**宗田 真**

専門: 上部・下部消化管  
ロボット手術プロクター(食道)  
内視鏡外科学会技術認定医(食道)  
趣味: ランニング・スポーツ観戦・ゴルフ



**渡辺 亮**

専門: 肝胆膵  
趣味: 水泳



**高田 考大**

専門: 下部消化管  
内視鏡外科学会技術認定医(大腸)  
趣味: 車・バイク



**吉田 知典**

専門: 下部消化管  
趣味: 音楽鑑賞

## 4. 【消化器外科外来担当医表】

(令和7年4月)

月	火	水	木	金
		尾嶋 仁	尾嶋 仁(新患)	尾嶋 仁
		宗田 真	宗田 真	宗田 真
		吉田 知典	吉田 知典	吉田 知典
		生方 泰成	生方 泰成	生方 泰成
		渡辺 亮	渡辺 亮	渡辺 亮
		高田 考大	高田 考大	高田 考大

## 5.臨床試験対象の患者様の紹介をよろしく申し上げます

### —登録中の臨床試験一覧—

#### 【食道癌】

##### IMPULSE

通過障害合併Stage IVB 食道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法と放射線(化学)療法後の免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法の実用的ランダム化第Ⅱ相試験

#### 【胃癌】

◆JCOG(日本臨床腫瘍グループ)胃がんグループに今年度より参加

##### JACCRO GC-11

術後補助化学療法中または終了後早期に再発した胃癌に対するCapeOX+ニボルマブ療法の化第Ⅱ相試験

#### 【大腸癌】

##### JCOG1801

直腸癌局所再発に対する術前化学放射線療法の意義に関するランダム化比較第Ⅲ相試験

##### JCOG1805

「再発リスク因子」を有するStageⅡ大腸癌に対する術後補助化学療法の有用性に関するランダム化第Ⅲ相比較試験

##### JCOG2004

切除不能進行・再発大腸癌に対する二次化学療法におけるFOLFIRI療法と併用するVEGF阻害薬(ベバシズマブ、ラムシルマブ、アフリベルセプト)の選択に有用なバイオマーカーを探索するランダム化第Ⅱ相試験

##### JCOG2207

臨床病期Ⅲの下部直腸癌に対する total neoadjuvant therapy (TNT) および選択的側方リンパ節郭清の意義に関するランダム化比較第Ⅲ相試験

##### PRABITAS

切除不能大腸癌に対するトリフルリジン・チピラシル+ベバシズマブの従来法と隔週法の実用的ランダム化第Ⅲ相試験

#### 【お問い合わせ先】

群馬県立がんセンター 消化器外科 宗田 真

住所: 〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1 TEL:0276-38-0771(代表) FAX:0276-38-0614

・診療予約等につきましては当院ホームページをご覧ください

URL: <http://www.gunma-cc.jp>

TEL:0276-38-0771(代)

予約専用電話:0276-38-0762



～お知らせ～

群馬県立がんセンターホームページに動画を掲載中

“ロボット支援 ダビンチXi 2台目導入”

“「知っておきたい大腸がんのコト」”(群馬県デジタル市民公開講座)

是非ご覧ください!

URL: <https://www.gunma-cc.jp/pages/4/138/156/>



スマートフォンやタブレットでご視聴の場合は、Wi-Fi環境での御利用を推奨します。  
なお、発生したデータ通信費用について当院は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。